

建学の精神
之科學為報國修

新物 聞療

Butsuryo College of Osaka

医療人教育80年の
伝統と実績
エキスパートとしての
確かな未来

第4号

発行所：大阪物療大学
発行者：田中博司
発行年月日：平成25年 元旦
編集：広報委員会
※無断転載を禁じます

〒593-8324 大阪府堺市西区鳳東町4-410-5 TEL.072-260-0095



新年明けましておめでとうございます。

皆様にはいかがお過ごしでしょうか。学長の田中博司です。

昨年11月には文部科学大臣の裁量権で大学設置不認可、一転しての認可とめぐるしき対応をされた学校法人がありました。

少子化に伴い、大学全入学化時代に対する学力低下への警鐘だと受け止めて、平成22年10月29日の認可いただいた日を振り返り、真摯な気持ちで開学3年目の正月を迎えています。

開学1年目、2年目と順調に経過してまいり、3年生となられる1期生がいよいよ臨床実習（学外での病院実習）へ、雛鳥が巣穴から大空へ飛び出していく姿を心配そうに見ている親鳥の心境です。

子ども達はいつの間にか大きく育っていき、親が気付かないうちに大人になっていくものです。

この子達とともに、本学も一步一步着実に歩んでいきたいものです。



市民公開講座を開催

『あなたの大事な家族を守りましょう。未然に防ごう脳卒中』

【第3回】 平成24年 6月 9日(土) 脳卒中の前兆や症状、原因について

【第4回】 平成24年10月27日(土) 脳卒中の正しい理解や、予防に効果的な運動について

第3回市民公開講座(後援：堺市)

平成24年6月9日、本学アリーナ(講堂)において、第3回市民公開講座を開催しました。天候がすぐれなにも関わらず、78名の方にご参加いただきました。今回は本学保健医療学部の金森学部長により、脳卒中の予防や対処方法についての講演が行われました。多数のご質問を頂き、脳卒中のことについて少し学んでいただけたと思います。



講演の様子

第4回市民公開講座(後援：堺市)

平成24年10月27日、前回と同じく本学アリーナにおいて、第4回市民公開講座を開催しました。今回も72名の方にご参加いただき、脳卒中ではどのような検査をするか、どのような予防が効果的であるかなどについて本学の山口功教授と谷内幸喜教授による講演が行われました。また、高井逸史准教授・学生による簡単な健康体操を全員で行い、和やかな雰囲気の中、楽しい一時を過ごすことができました。ご参加を賜りました堺市の皆様に深く御礼申し上げます。



健康体操の様子

育友会総会

大阪物療大学育友会第2回定時総会が、平成24年6月9日(土)に大阪物療大学4号館にて開催されました。

平成23年度事業報告、決算報告、監査報告が行われ、続いて平成24年度役員(案)、事業計画(案)、予算(案)について審議、承認されました。

総会終了後には、保護者懇談会、育友会親睦会が順次開催され、いずれも参加会員から好評をいただき、盛会のうちに終了することができました。特に、少人数担任制のもとで学生教育を実施している本学担任教員との

懇談会では、学生さんの大学生活について直接、面談で担任教員とお話できたと、保護者の皆様方の安心した様子が見受けられました。

引き続き行われた親睦会では、大学教員も交えてのコミュニケーションが大変な盛り上がりで、有意義な時間となりました。

育友会として今後は更に充実した大学教育に向けて、保護者、大学教職員一同力を合わせて尽力して参ります。

秋期スポーツフェスティバル

平成24年10月4日（木）、大阪府羽衣青少年センター（体育館・グラウンド）にて、学生自治会（療友会）主催による秋期スポーツフェスティバルが開催されました。

今回のスポーツフェスティバルは、春期に開催されるスポーツフェスティバルと異なり、1週間後に迫った「第53回近畿地区診療放射線技師教育施設学生体育大会」に向けての競技練習を兼ねているため、バレーボール及び

サッカー競技に出場する学生が主体となり、さらに学生からの希望が多かったドッジボール・障害物競争を4チーム対抗にて熱戦を繰り広げました。結果はCチームの優勝でしたが、学生たちは皆、日頃なまった体を動かすことで、1週間後の近畿地区診療放射線技師教育施設学生体育大会へ向けてそれぞれが良い汗を流しているようでした。



アセアン民間大使が来学



日本にとって重要な国際的パートナーである東南アジア諸国連合（ASEAN：アセアン）は2015年のアセアン統合に向けて、大きく飛躍を遂げています。そのアセアン加盟国のうち5か国の大学生が10月3日（水）、大阪物療大学を訪問し本学学生と交流会を持ちました。来学されたのは、堺市で行われている国際交流事業「堺・アセアンウィーク2012」に民間大使として来日されている王立プノンペン大学(カンボジア)、ナショナル大学(インドネシア)、デ・ラサール大学（フィリピン）、ラチャパット大学（タイ）、ダナン外国語大学(ベトナム)の代表15名の教員および学生



のみなさまです。

本交流会では、民間大使が各国の挨拶や社会文化について日本語で紹介されました。本学学生は初めて聞く言葉もすぐにマスターし、同世代間の異文化交流を楽しみました。参加した民間大使は、「少しでも自国のことを若い日本人に知ってもらえればうれしい」と話し、またインドネシア民間大使と交流した中島知美さん（1回生）は、「世界遺産などがあるインドネシアのことを知ることができて、よかった。いつか訪ねてみたい」と述べ、国際人として第一歩を踏み出したことを感じさせてくれました。

近畿地区スポーツ大会

平成24年10月10日（水）、秋晴れの中、兵庫県西宮市の大阪ガス今津総合グラウンドにおいて、第53回近畿地区診療放射線技師教育施設学生体育大会が開催されました。本大会は、近畿地区の診療放射線技師教育施設の学生が一堂に会して行われ、汗ばむような陽気の中、9種目の競技で熱戦が繰り広げられました。大阪物療大学は、バレーボール、バスケットボール、サッカーと種目優勝し、その他全ての種目でも準優勝を飾りました。7種目の競技が終わった時点で、トップと僅差で2位に付け、綱引



き、学校対抗リレーの残り2種目に勝敗の行方を託しました。逆転優勝を祈り、選手一同が母校の優勝を勝ち取るため、懸命にそして正々堂々と競技に臨みました。本学学生教職員は、選手の健闘に惜しめない声援を送りましたが、綱引き、学校対抗リレーともに惜しくも種目優勝に届かず、残念ながら、昨年度総合優勝の京都医療科学大学に続き総合2位となりました。来年度の大会では雪辱を果たすことを期待します。



物療祭

平成24年11月2日(金)、3日(土)の2日間にわたり、大学生だけで企画・運営した第1回物療祭が天候に恵まれ、盛大に開催されました。

今回のテーマは「1st Place 🏆」。大阪物療大学最初の大学祭であること、ベストのイベントにしたい、全員まっすぐに進みたいという学生の熱い思いと希望が込められたものです。

イベントは英語クラブSOECによる歌の披露「SOEC CONCERT」から始まり、特別出演として河内文化郷土保存会の河内太鼓による「和太鼓演奏」、

学生の仮装である女装男装変身が魅力の「ビフォーアフター」、教員の飛び込み参加もあった「カラオケ大会」、そして最後の「ビンゴ大会」まで楽しいプログラムが続き、大いに盛り上がりました。近隣の方の参加もあった模擬店やバザーでは、熱い呼び込みや学生達の語らいの輪から楽しそうな声が聞こえ、教職員の模擬店ともに参加者が一体となる場が多くみられました。実行委員の皆さんの活躍で、今後の発展が期待できる物療祭となりました。



2012年度オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスは、6月17日(日)、7月21日(土)、8月26日(日)、9月9日(日)の日程で開催しました。イベントの中でも特に最先端の医療機器や、本学の研究・実習を体験していただく実習体験ブースは、毎回新たなものが立ち上がり、参加者の方々に大好評いただきました。その他にも、診療放射線技師の仕事や本学をよりご理解いただく為のミニ講義、大学説明会、学生スタッフによる施設案内ツアー、在学生との団らん会、保護者の皆様との相談会など盛りだくさんのイベントに、一回の参加では回りきれず、何度も足を運んでくださる方もいらっしゃいました。

また、8月と9月のオープンキャンパスでは、有名予備校講師による入試対策講座に加え、本学軟式野球部による焼きそば屋台やおにぎり、サンドウィッチなどで、頭もオナカもいっぱいになった参加者の方々から、「また来たい」とのお声を多数頂戴しました。オープンキャンパスにご参加いただけなかった方も、教員が個別に施設案内や個別相談をさせていただく「フリーキャンパス」制度を実施していますので、本学ホームページかお電話にてお申し込みください。

6/17
SUN

7/21
SAT

8/26
SUN

9/9
SUN



(右)大好評を頂いた物療ファイルケース、ノート、ペン、ペンケース、メモリーライン、修正ペン



個別相談会(手前)、在学生との団らん会(奥)の様子



実習体験ブースの様子

スプリングキャンパスご案内

平成25年度の新高校2年生・3年生を対象としたスプリングキャンパスを開催いたします。「診療放射線技師ってどんな仕事?」「どんな勉強をするの?」など、診療放射線技師についての疑問にお答えし、学生生活、放射線医療、診療放射線技師の業務についても、詳しく説明いたします。

また本学の最新医療装置や機器に触れる体験実習も実施しますので、医療に興味を示されています高校生の方々に皆様方にご紹介いただきますようお願い致します。

- 日時：平成25年3月24日(日) 10:00～ 予定
- 場所：大阪物療大学1号館
(大阪府堺市西区鳳北町3-33)

詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。

お問い合わせは、就職・渉外部門 広報グループまで

TEL 072-260-0095



病院見学について

本学では、3回生と4回生で病院での臨床実習を行います。1、2回生は、夏期休暇、冬期休暇など大学の授業のない期間に病院見学を行っています。その目的は、医療人として仕事をする臨床現場の様子や診療放射線技師が、病院で実際にどのような仕事をしているのかを身近に感じることです。1、2回生で病院見학을希望する学生は、見学先の病院を学生自身で探し、直接病院見学施設と交渉の上、承諾を得て実施しています。

病院見学によって、診療放射線技術学が医療の中でどのように役立つのかを具体的にイメージでき、大学で学ぶ基礎専門科目の授業がより理解しやすくなることや、学生自身が見学先を決めることで社会人としての自覚を養うことに繋がります。



私は大阪医療センターで病院見学をさせて頂きました。今回見学したのはCT、MRI、血管造影、核医学検査、放射線治療です。特に印象に残っているのが、放射線治療室です。部屋には絵が飾ってあり、リラックス出来る音楽を流すことにより、少しでも患者さんの不安を取り除く工夫が施されていました。私もこのような大きな病院で立派に働いておられる技師の方を目指して、頑張りたいと思います。

2回生 原田 紗希
(四天王寺羽曳丘高等学校 出身)



私が病院見学でまず驚いたのは、職員の仕事に対する姿勢です。患者さんが来院すると何をおいてもすぐに患者さんの対応をされます。そして次に驚いたのは、私の微妙な体調の変化に気付いてくれたことです。

小さな仕草などから体調の変化が分かるなんて、さすが「医療人」だと思いました。病院見学は自分の将来をより明確に想像し、今すべきこと・できることは何かを知る良い機会になったと思います。

1回生 青柳 有佑美
(登美丘高等学校 出身)

軟式野球部 第1回定期戦

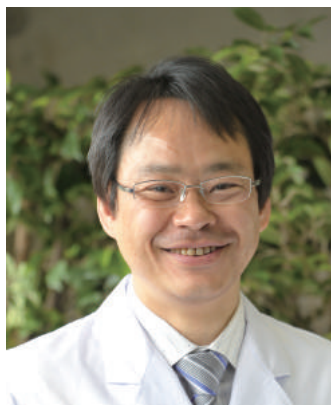
平成24年11月10日（土）、京都医療科学大学との定期戦が京都府園部のK P Cスポーツセンターで実施されました。両大学は関西にある医療系の単科大学で、また我が国の診療放射線技師養成校の中で最も古い歴史を持つ2校でもあります。

試合は最大4点差となる苦しい展開でしたが、個々が自分の役割を果たし逆転に成功すると、その後は安定した守備で逃げ切りに成功しました。

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
京都医療科学大学	0	3	1	1	0	0	1	0	0	6
大阪物療大学	0	1	0	6	0	0	0	0	X	7



診療放射線技師の「現場」について



本学の教授でもあり、大学病院などで
臨床経験を26年もお持ちの
山口 功先生にお話を伺いました

■診療放射線技師を目指したきっかけは？

診療放射線技師を目指したのは、これからの医療の中で画像を使った診断が発展的に必要になると確信したからです。実際、CTやMRIといった医療機器は新しいものですし、私が高校生の頃には全く目にするのではなく、大学病院などの大病院にただけでした。しかし、いまやCT、MRIの稼働台数は人口比で世界第一位となり、アメリカの約3倍にもなっています。

■臨床現場で難しいと感じることは何ですか？

診療放射線技師が働く病院や診療所では様々な患者さんが来られますので、短い会話の中で、患者さんの身体の状態だけでなく、不安などの精神的な状態まで把握して検査をしなければならないことが非常に難しいと感じます。診療放射線技師は医師や看護師と違って、患者さんと「点」で接することが多いのですが、その短い時間で適切なコミュニケーションがとれるスキルは必須条件と言えます。逆に言えば、診療放射線技師が「人を相手にする仕事」であるからこそ、「これからもずっと必要とされる仕事」といえます。

■診療放射線技師を目指す方や、進路に迷っている方へのメッセージを頂戴できますか？

「人を好きになってください」とお伝えしたいですね。

医療の現場を志すのであれば、ぜひ人を好きになっていただきたいと思います。

診療放射線技師というのは、機械やコンピュータを使う職業ではありますが、それがメインの仕事ではありません。あくまでも、人と接して検査や治療を行う仕事なのです。ですから、人を好きでないと出来ない仕事といえるでしょう。



学生自治会コラム

皆さんこんにちは。療友会副会長の田久見です。皆さんは療友会という組織をご存知ですか？療友会とは大阪物療大学の学生がより良い大学生活を過ごせるように検討したり、大学行事を企画・実行する学生自治会のことです。

現在、発足して約1年程の療友会の学生は11人と決して多くはありません。しかし少人数だからこそ協力しあい、学生のことを考え、大学行事をより良いものにしようと思死です。

主な仕事は、学祭と季節ごとに行われるスポーツフェスティバルの企画や運営です。

その他の仕事としては、各サークルの管理や、新入生へのオリエンテーション、オープンキャンパスのお手伝いなどがあります。1つ1つの仕事が非常に重要で、責任があり、とてもやりがいのある内容です。もちろん仕事は大変で、時間もかかりますが、1つの仕事を成し遂げた時の達成感は、他では経験できません。高校や中学校で生徒会に参加していた人、興味のある人は是非、本学の療友会で一緒に活動しましょう。



2回生 田久見 亮太
(東宇治高等学校 出身)

平成 25 年度入試概要

① 募集学部／学科

保健医療学部／診療放射線技術学科

② 定員

80 名（男、女）

③ 修業年限

4 年

※卒業と同時に診療放射線技師国家試験の受験資格が得られます。

④ 募集人員

入試区分	推薦入試	一般入試	社会人入試
募集人員	終了	38名	終了

⑤ 入試日程（平成 24 年 11 月～平成 25 年 3 月）

選考区分		試験日	募集人員	出願期間(郵送必着)	合格発表	手続期限	試験場
一般入試	前期	1/24(木)	30	1/7(月)～1/18(金)	1/29(火)	2/18(月)	本学 (1号館)
	後期	3/15(金)	8	2/25(月)～3/13(水)	3/18(月)	3/25(月)	

※募集人員は予定

※平成 25 年度入学試験では大学入試センター試験利用選抜入学試験は行いません。

本学2回生2名が、第1種放射線取扱主任者試験に合格!

第1種放射線取扱主任者は文部科学大臣が与える国家資格であり、合格率は毎年約 20% の大変難関な国家試験です。通常は 3 回生、4 回生での合格が多いこの試験に、2 回生の南川由樹さんと吉松彩花さんが見事合格しました。おめでとうございます！



吉松 彩花さん
(住吉高等学校 出身)



南川 由樹さん
(東住吉高等学校 出身)